令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	1	2	1	土地利用	良好な景観形成の推進
実施計画事業名					
景観計画推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観推進事務費
担当課・係等				
都市計画課　計画係				

実施計画整理番号	
501020101	
総合戦略整理番号	32102 32306

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
本市の景観が、憩い、潤い、安らぎ、趣きがあるふるさと景観として、市民をはじめ多くの人に知ってもらい、愛着がもてる状態を目指す。	・景観資源52箇所について、市民に関心を高めてもらうために案内看板を積極的に設置していく。 ・「茂原市わが街ガイド」を活用し景観資源の情報を発信する。 ・茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを実施する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

景観資源の案内看板等による情報発信や景観資源バスツアーを開催することで、市民の本市への愛着を醸成させ、ひいては施策「良好な景観形成の推進」に寄与していく。

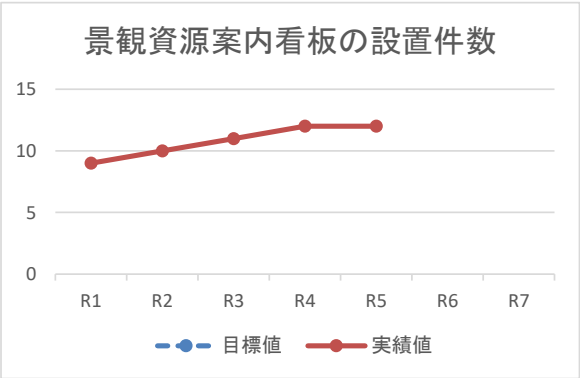
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	0	0	0						
財源内訳	国補助	千円	0								
	県補助	千円	0								
	市債	千円	0								
	その他	千円	0								
	一般財源	千円	0	0	0						
人工数		人	－								
人件費		千円	－								

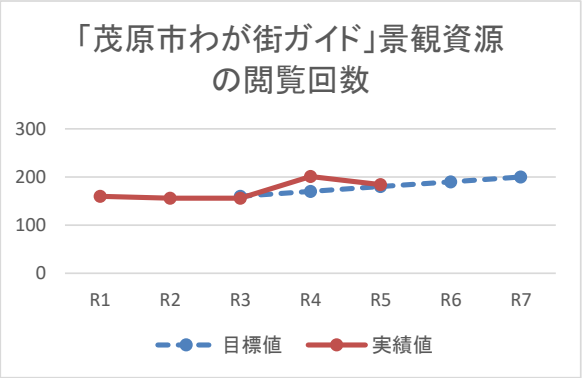
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
景観資源案内看板の設置や「茂原市わが街ガイド」の景観資源マップを活用し、本市の魅力を発信する。	景観資源案内看板の設置件数（累計）	件	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	12	12		
	「茂原市わが街ガイド」を活用した景観資源の情報発信（更新回数）	回	目標値	10	10	10	10
			実績値	10	4		

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
景観資源の存在を市民に広め、関心を高めてもらうとともに、ふるさと景観として愛着を持ってもらう状態を目指す。	「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数	回	目標値	170	180	190	200
			実績値	201	184		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	1	2	1	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観推進事務費

整理番号
501020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・「茂原市わが街ガイド」の景観資源マップで、本市の魅力の周知に努めた。
・フェイスブックにより景観資源の最新の情報を発信し、良好な景観の価値を再認識してもらえるよう努めた。
・景観資源の見直しに向け、第6次茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議委員とともに状況が変化した景観資源の現地確認を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・景観資源案内看板の効果や地権者の承諾を考慮すると、残りの設置箇所数が約20あり、設置を順次進めて行く必要がある。
・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数を増やすための方策を考える必要がある。
・景観資源52箇所は、第2次茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議（平成21年11月～平成24年10月）において選定されたが、選定当時と現在の状況が異なっているものが数箇所あることから、見直しを行う必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・景観資源案内看板について、設置の効果検証や地権者の意向把握が必要である。
・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数を増やすために、市広報・ウェブサイト等を活用し周知を図る。
・第6次茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において景観資源52箇所を見直すとともに、景観資源バスツアーの開催やマップ・ポスターの修正を行う。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	本市の景観資源について、看板の設置や情報発信を行うことにより、良好な景観形成の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き景観資源の見直しに努めていただくとともに、より効果的な情報発信の方法についても検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	1	3	1	土地利用	地籍の適正管理
実施計画事業名					
地籍調査事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事務費
担当課・係等				
土木管理課　用地管理係				

実施計画整理番号	
501030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
行政区域面積から土地区画整理事業実施区域を除いた約90㎢の約18万筆の土地について、地籍簿・地籍図を作成することで、土地境界をめぐるトラブルの未然防止、各種公共事業の効率化、災害復旧の迅速化、課税の適正化等が図られる。	一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を市内10工区に分け、計画的に実施する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

地籍調査に取り組み、土地の所有者等を調査するとともに、測量を実施することにより、境界及び面積の確定に努め、ひいては施策「地籍の適正管理」に寄与する。

投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	15	15	15						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	15	15	15						
人工数		人	0.25								
人件費		千円	1,916								

手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
地籍調査実施に向けた関係機関協議を行う。			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
市内の約90万㎡、約18万筆の土地の地籍簿・地籍図を作成することで、土地境界をめぐるトラブルの未然防止、各種公共事業の効率化、災害復旧の迅速化、課税の適正化等が図られる。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向	成果指標の動向

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	1	3	1	地籍調査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事務費

整理番号
501030101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・千葉県国土調査推進協議会負担金を納入した。
・長生郡市地籍調査協会と事業実施に向けた準備作業及び、スケジュール等について打合せを行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

C：成果を挙げることができなかった（目標・目的を達成していない）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・長生郡内では、茂原市以外の町村は、地籍調査を開始し、着実に進めている。
・事業実施に向けては専任となる人員の確保が必要となる。
・国、県の動向を注視していく。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・目標を達成するため、少しでも早く事業に着手出来るよう、国、県の動向を注視するとともに、実施に向けた予算や人員の確保について、関係部局と協議を行う。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	事業の着手については、予算の制約もあるため、引き続き関係各課と協議を重ね検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	2	1	1	市街地整備	秩序ある市街地整備の推進
実施計画事業名					
茂原駅前通り地区土地区画整理事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業
担当課・係等				
都市整備課　区画整理係				

実施計画整理番号	
502010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境及び住環境の整備を継続的に進めることで市街地の活性化が図られることを目的とする。	・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。 ・権利者と良好な関係を築き、移転補償や道路整備を円滑に進める。 ・集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査・研究を進める。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

茂原駅前通り地区土地区画整理事業を進めることで、中心市街地としての商業・業務環境の整備による商店街の活性化と安全で快適な住環境の形成を図り、ひいては施策「秩序ある市街地整備の推進」に寄与する。

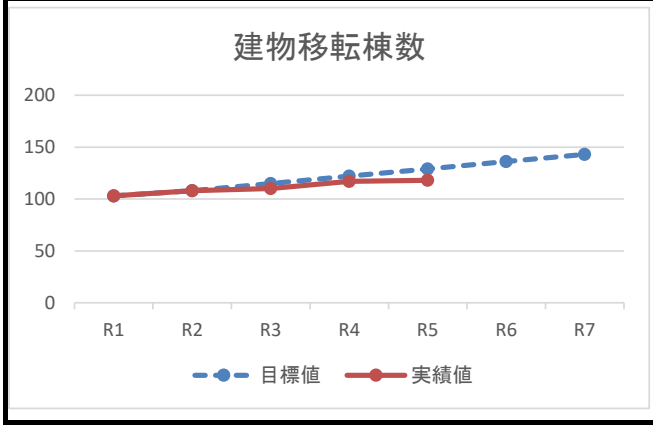
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	150,417	158,110	66,747						
財源内訳	国補助	千円	63,754	63,754	12,197						
	県補助	千円									
	市債	千円	73,500	80,400	45,600						
	その他	千円									
	一般財源	千円	13,163	13,956	8,950						
人工数		人	2.9								
人件費		千円	22,220								

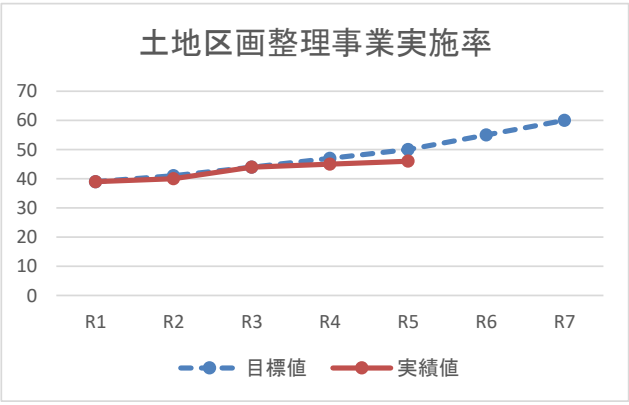
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
地権者に対し丁寧な説明に努め、建物等の移転補償を円滑に進めていく。	建物移転棟数	棟	目標値	122	129	136	143
			実績値	117	118		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
公共施設の整備改善と宅地の再編成を行うことにより商店街の活性化と住環境整備を図る。	土地区画整理事業実施率	%	目標値	47	50	55	60
			実績値	45	46		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	2	1	1	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

整理番号
502010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・建物等の補償契約を8件締結し、建物移転を1棟進めた。
・土地区画整理事業によるまちづくりを検討するため、庁内の関係課及びまちづくり推進協議会と協議及び勉強会を実施した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

C：成果を挙げることができなかった（目標・目的を達成していない）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

本事業は、施行面積10.7ha、総事業費160億円、施行期間は平成4年度から令和13年度としている。平成5年3月の事業計画決定とともに着手し、平成7年度から早期完成を目指し建物移転や道路築造工事等の推進に努めてきた。進捗率は、31年を経過した現在、総事業費に対し、45.6%であり事業の更なる長期化が懸念される状況となっている。また、地権者からは長期化している状況に対する不満等も多いことから、早期完成に努める。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑥その他**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・事業区域内の主要道路である都市計画道路を優先的に整備することで、土地利用の活性化を図る。
・事業進捗を図るため、交付金や起債を活用し、より効率的な事業実施に努める。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	建物移転等、事業実施を図っているところではあるが、目標とする進捗から遅れが見受けられるため、限られた予算の中で、交付金の活用も含め、効率的な事業実施に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	2	2	1	市街地整備	災害に強い都市基盤整備の推進
実施計画事業名					
宅地耐震化推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	3	1	14	宅地耐震化推進事業
担当課・係等				
都市計画課　開発指導係				

実施計画整理番号	
502020101	
総合戦略整理番号	

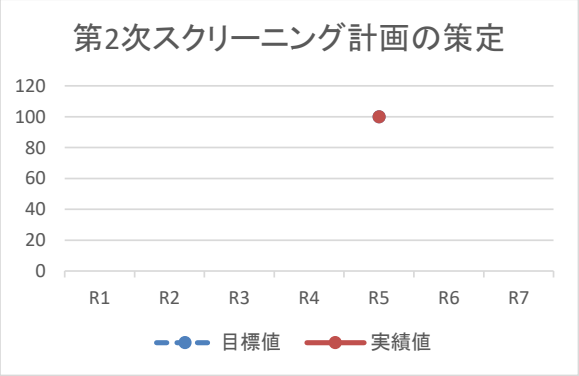
事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	地震時による宅地の安全確保を図るため、市内の大規模盛土造成地61箇所について、滑動崩落が発生する危険性のある大規模盛土造成地を把握し、宅地耐震化を推進することにより災害を防止する。	滑動崩落が発生する危険性のある大規模盛土造成地を把握するために、国の交付金等を活用し、第2次スクリーニング（地盤調査及び安定計算）の優先順位付けを行う計画（優先度評価）の策定を行う。また、計画策定後、優先度の高い順に第2次スクリーニングを実施していく。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	茂原市国土強靭化地域計画に基づき、市内の大規模盛土造成地について、大規模地震時に被害が生じる恐れの有無を調査することにより宅地耐震化を推進し、施策「災害に強い都市基盤整備の促進」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
	事業費	千円	17,314	10,681	7,832						
財源内訳	国補助	千円	5,270	3,560	3,111						
財源内訳	県補助	千円									
財源内訳	市債	千円									
財源内訳	その他	千円									
財源内訳	一般財源	千円	12,044	7,121	4,721						
	人工数	人	0.6								
	人件費	千円	4,597								

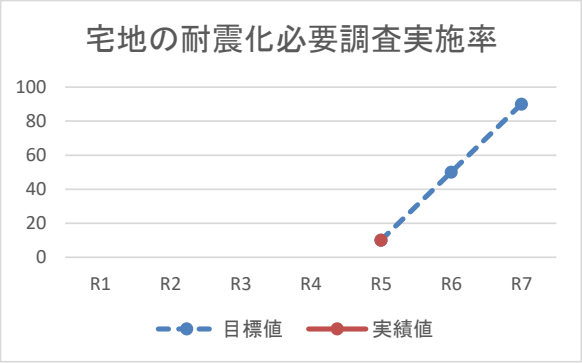
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
大規模盛土造成地 第2次スクリーニング調査	第2次スクリーニング計画の策定	%	目標値		100		
			実績値		100		
	第2次スクリーニングの実施率	%	目標値			50	100
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
滑動崩落が発生する危険性のある大規模盛土造成地の把握	宅地の耐震化必要調査実施率	%	目標値		10	50	90
			実績値		10		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	2	2	1	宅地耐震化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	3	1	14	宅地耐震化推進事業

整理番号
502020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・市内大規模盛土造成地63箇所の現地踏査を行い、地質調査や安定計算を行う優先度の評価を行った。その結果から安全性を把握していくための計画を策定した。
・優先度の高い順に、A評価6箇所、B評価26箇所、C評価8箇所、対象外23箇所となり、2次スクリーニング対象盛土はA1評価2箇所とA2評価1箇所の計3箇所となった。
・今回の現地踏査により、新たに湧水のある擁壁が見つかり、これらの安全確認のため、簡易地盤調査を実施すべき盛土10箇所と擁壁の危険度判定を実施すべき盛土2箇所が追加となっていることから、これらの調査を追加で実施すべき状況となっている。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・優先度評価の結果、第2次スクリーニングが必要と判断された大規模盛土3箇所については、令和6年度1箇所、7年度1箇所に地質調査と安定解析を要する。他、1箇所については、既に千葉県住宅供給公社が、同様の地盤調査を実施済みとなっている。2次スクリーニングによる安定解析の結果、地盤の安定が見込めないこととなった場合、盛土造成地の崩落対策工事が必要となり、国と市町村がその工事費を負担することとなる。
・業務委託により追加となった簡易地盤調査対象10箇所と擁壁の安全性調査対象2箇所については、今後の2次スクリーニングに追加し調査を要する。
・A～Cと評価された40箇所の大規模盛土造成地については、国のガイドラインに従い、市町村に継続的な経過観察が求められることから、定期的に現地調査し、調査結果を記録に残していくことが新たに必要となり、今後職員による事務量が増加する。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・大規模盛土造成地の安全性把握については、全国の自治体がガイドラインに基づいて実施しているものであり、地盤の地質調査と安定解析の調査結果から学識経験者等専門家の意見も取り入れて対応することが求められる。
・盛土造成地の滑動崩落が、住民の生命、財産に及ぼす被害を防止するため、根拠を持った対策を一つずつ講じていく他に災害を未然に防止する方法はないことから、継続して安全性把握の調査業務を推進していく事が必要である。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	第2次スクリーニングのための事業推進により、宅地耐震化の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き必要な調査等、事業の推進に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	1	1	総合交通体系	道路網の整備
実施計画事業名					
茂原長柄スマートIC周辺整備事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	茂原長柄スマートIC周辺整備事業
担当課・係等				
土木建設課　道路整備係				

実施計画整理番号	
503010101	
総合戦略整理番号	42201

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図り、土地利用の推進を図る。	茂原長柄スマートIC周辺の整備を行う。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図ることにより、土地利用の推進につながり、ひいては施策「道路網の整備」に寄与する。

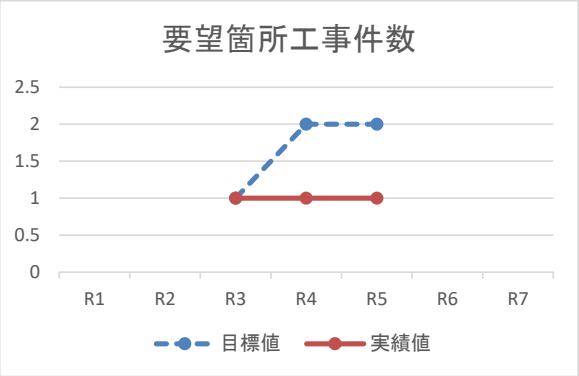
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	7,700	7,700	7,425						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	5,700	5,700	5,500						
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,000	2,000	1,925						
人工数		人	0.4								
人件費		千円	3,064								

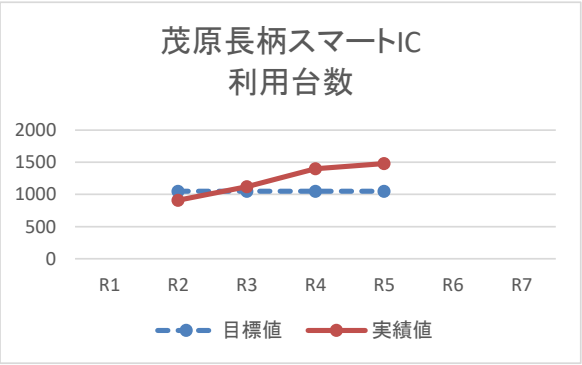
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
茂原長柄スマートIC周辺整備事業を進める。	要望箇所工事件数	件	目標値	2	2		
			実績値	1	1		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
茂原長柄スマートIC周辺を整備することで、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上を図る。	茂原長柄スマートIC利用台数	台／日	目標値	1,050	1,050		
			実績値	1,400	1,480		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	3	1	1	茂原長柄スマートIC周辺整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	茂原長柄スマートIC周辺整備事業

整理番号
503010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・法定外道路において法面工事を実施した。
・茂原長柄スマートIC周辺を整備し、市民及び道路利用者の安全性・利便性が向上した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**A：有効性が高い**	**B：効率性が認められる**

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・目標としていた法定外道路の整備が完了した。
・茂原長柄スマートIC周辺の整備が概ね完了したことから、今年度で事業終了とする。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
D：事業終了年度に達した	**⑥その他**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・茂原長柄スマートIC周辺の整備が概ね完了したが、自治会からの要望残もあるため、他の地区の要望と優先順位をつけて、整備を実施する必要がある。

企画政策課の評価		評価理由
D	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	茂原長柄スマートIC周辺の整備により、市民及び道路利用者の安全性・利便性の向上に一定の成果があったと認められる。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	1	2	総合交通体系	道路網の整備
実施計画事業名					
都市計画道路整備事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費
担当課・係等				
土木建設課　道路整備係				

実施計画整理番号	
503010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
都市計画道路「桑原八千代線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、補助幹線道路網の整備をすることで、利便性の向上および交通の円滑化を図る。	事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

JR茂原駅を挟んだ南北道路（桑原八千代線、小林浜町線）を整備する事により、JR茂原駅周辺に不要な通過交通を引き込まない事につながり、ひいては施策「道路網の整備」に寄与する。

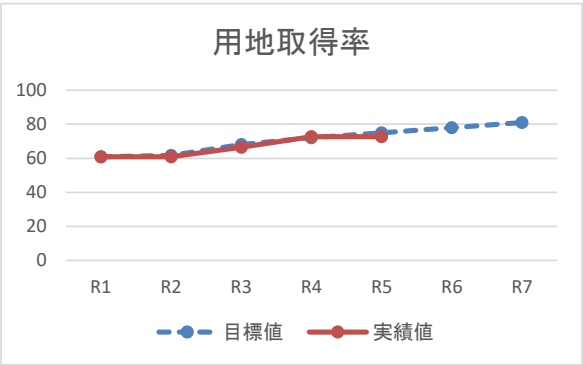
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	6,320	170,783	123,256						
財源内訳	国補助	千円	2,500	33,060	10,560						
	県補助	千円									
	市債	千円	3,300	39,100	15,200						
	その他	千円									
	一般財源	千円	520	98,623	97,496						
人工数		人	1								
人件費		千円	7,265								

手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
街路事業用地を取得し、都市計画道路を整備する。	用地取得率（桑原八千代線）	㎡	目標値	72	75	78	81
			実績値	73	73		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
事業の早期完成を目指すことで、利便性の向上および交通の円滑化を図る。	事業の早期完成により利便性向上および交通が円滑化		目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	3	1	2	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

整理番号
503010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・桑原八千代線【継続地区】において、道路改良工事を進める事ができた。
・国の補正予算を活用し、・桑原八千代線【継続地区】を完成させるための予算を確保した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	B：効率性が認められる

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・桑原八千代線【継続地区】工事を実施し進捗を図ることができた。
・桑原八千代線【桑原地区】に関し、主要地方道茂原長生線に付加車線を設ける必要が生じたことから、県道との交差点部の都市計画決定の変更をし、事業認可変更をする必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・桑原八千代線【継続地区】を完成させる。
・桑原八千代線【桑原地区】に関し、県と協議を行いの交差点部の都市計画決定の変更をし事業認可変更をする。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	都市計画道路の整備に係る事業の推進により、交通の円滑化に一定の成果があったと認められる。引き続き、補助金の活用も含めたより効率的な事業推進方法の検討に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	3	3	2	総合交通体系	バス輸送の整備
実施計画事業名					
地域公共交通事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	地域公共交通事業
担当課・係等				
都市計画課　交通政策係				

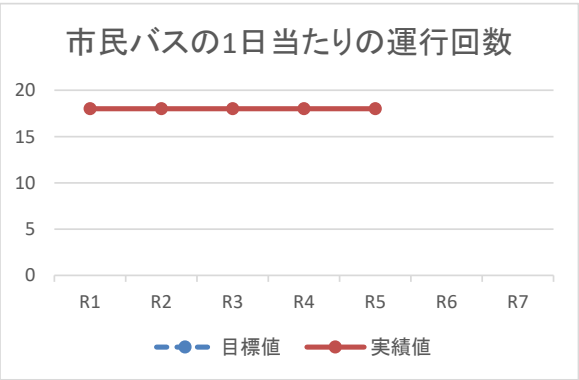
実施計画整理番号	
503030201	
総合戦略整理番号	42102

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	交通空白地域の解消及び学生や高齢者等の交通弱者また通勤利用者の利便性が向上することを目指す。	地域公共交通を維持するため、路線バスへの補助金交付、市民バス（定時定路線型）及びデマンド交通（区域運行型乗合タクシー）の運行により交通手段の確保を図る。また、茂原市地域公共交通会議において、関係事業者等と協議し地域に即した輸送サービスの実現を目指す。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者に、必要な移動手段を確保するとともに、民間路線バス、鉄道、タクシーと相互連携した持続可能な地域公共交通の構築を目指し、ひいては施策「バス輸送の整備」に寄与する。	

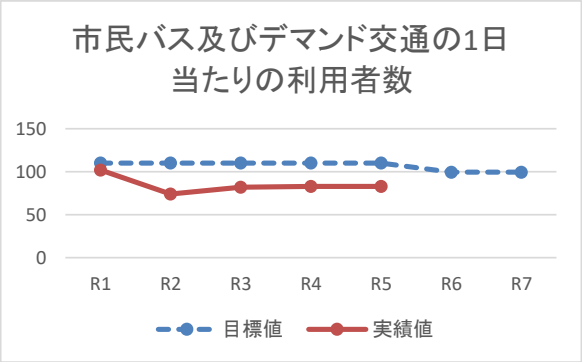
投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
	事業費	千円	34,403	34,403	31,926						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	10,807	10,807	5,727						
	一般財源	千円	23,596	23,596	26,199						
	人工数	人	1.3								
	人件費	千円	9,961								

手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
地域公共交通を維持するため、路線バス事業者へ補助金を交付する。また、地域に即した交通手段の確保を図るため、茂原市地域公共交通会議において関係事業者等と協議を行い、市民バス及びデマンド交通の運行を行う。	市民バスの1日当たりの運行回数	便	目標値	維持します	維持します	維持します	維持します
			実績値	18	18		
	デマンド交通の1日当たりの運行回数	便	目標値	維持します	維持します	維持します	維持します
			実績値	8	8		
成　果	**成果指標**	**単位**		**4年度**	**5年度**	**6年度**	**7年度**
学生や高齢者等の交通弱者並びに通勤利用者の交通手段を確保し、交通空白地域の解消を図る。	市民バス及びデマンド交通の1日当たりの利用者数	人	目標値	110	110	99.5	99.5
			実績値	83	83		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	3	3	2	地域公共交通事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	地域公共交通事業

整理番号
503030201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・地域公共交通（市民バス等）の運行については、事業者に運行業務を委託し、市民バス及びデマンド交通の運行を行った。
・地域公共交通会議の運営については、6月、9月、11月、1月の4回実施した。
・路線バス運行補助金については、路線バス事業者及び近隣町村と協議のうえ、6路線に対する補助金を交付した。
・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対する要望活動を実施するため、同期成同盟に負担金を支出した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**A：有効性が高い**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・地域公共交通（市民バス等）の運行については、コースやエリアの再編など、利用者のさらなる利便性向上を図る必要がある。
・地域公共交通会議の運営については、適宜開催し、活発な意見交換の場となるようにする必要がある。
・路線バス運行補助金については、補助路線及び補助金額について、路線バス事業者及び近隣市町村と協議する必要がある。
・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対して効果的な要望を実施する必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・地域公共交通（市民バス等）の運行については、地域公共交通計画に基づき、地域公共交通会議において十分に協議する。
・地域公共交通会議の運営については、議題に応じて適切に会議を開催・運営する。
・路線バス運行補助金については、路線の在り方について検討したうえで、合理的な積算方法により、適切な補助金の交付を行う。
・千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金については、東日本旅客鉄道株式会社に対する要望事項を精査する。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	地域公共交通の運行に係る事業の推進により、通勤利用者の利便性向上に一定の成果があったと認められる。引き続き関係機関との連携を密にし、適正な補助金・負担金の交付に努めるとともに、利用者のさらなる利便性向上に向けた施策を検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	3	1	下水道等	浄化槽対策の推進
実施計画事業名					
合併処理浄化槽設置促進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業
担当課・係等				
環境保全課　環境対策係				

実施計画整理番号	
505030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
公共用水域の水質汚濁防止のため、公共下水道事業計画の認可区域・農業集落排水事業採択区域を除く区域において、合併処理浄化槽への転換設置を促進する。	・単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換設置する市民に対し、補助金を交付する。 ・市公式ウェブサイトや広報等により維持管理の徹底や生活排水対策について周知する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

公共下水道・農業集落排水以外の区域における生活排水対策として、合併処理浄化槽への転換を促進する必要がある。合併処理浄化槽への転換には多額の費用を要するため、補助金交付により転換の促進を図り、施策「浄化槽対策の推進」に寄与する。

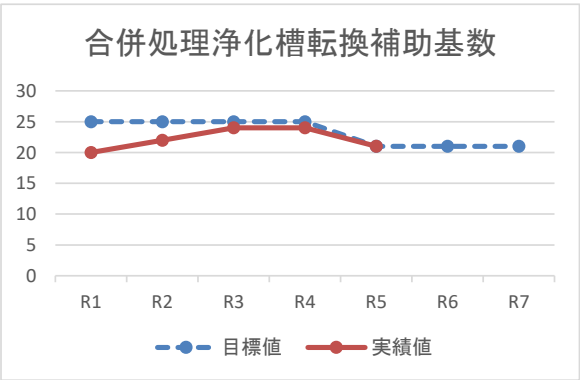
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	12,635	12,635	12,635						
財源内訳	国補助	千円	3,851	3,851	3,851						
	県補助	千円	4,381	4,381	4,381						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,403	4,403	4,403						
人工数		人	0.5								
人件費		千円	3,832								

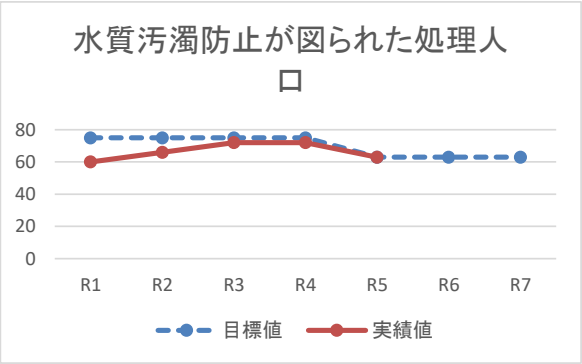
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
公共下水道・農業集落排水以外の区域において、トイレや台所、ふろ場などすべての生活排水を処理する合併処理浄化槽へ転換設置する市民に補助金を交付する。	合併処理浄化槽転換補助基数	基	目標値	25	21	21	21
			実績値	24	21		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
公共下水道・農業集落排水以外の区域における生活排水対策を推進し、公共用水域の水質汚濁防止を図る。	水質汚濁防止が図られた処理人口	人	目標値	75	63	63	63
			実績値	72	63		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	5	3	1	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

整理番号
505030101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・単独処理浄化槽17件、くみ取り便槽4件、合計21件について、合併処理浄化槽への転換設置を補助した。
・広報やウェブサイト等を通して、補助制度の周知を図るとともに、浄化槽の適正な維持管理、家庭における生活排水対策について啓発を図った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・公共下水道・農業集落排水以外の区域において、まだ多くの家庭で単独処理浄化槽やくみ取り便槽を使用しているものと推察されるため、合併処理浄化槽への転換補助を継続していく必要がある。
・補助制度の利用促進を図るため、引き続き周知を図る必要がある。
・既設浄化槽を正しく機能させるため、適正な維持管理について引き続き啓発を図る必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・合併処理浄化槽への転換補助、補助制度の周知、浄化槽の適正な維持管理について啓発を図ることで、公共下水道・農業集落排水以外の区域における生活排水対策に一定の成果を挙げていることから、引き続き事業の推進を図る。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	合併処理浄化槽への転換に対する補助を行ったことにより、浄化槽対策の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な補助を行うとともに、効果的な周知方法について検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	4	1	下水道等	排水の適正処理
実施計画事業名					
排水整備事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業
担当課・係等				
土木建設課　河川整備係				

実施計画整理番号	
505040101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
幹線排水路及び生活排水路を計画的に整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備を図る。	茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備を進める。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

近年の気候変動に伴い、大雨が激甚化、頻発化していることから、幹線排水路及び生活排水路を整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備が図られ、ひいては施策「排水の適正処理」に寄与する。

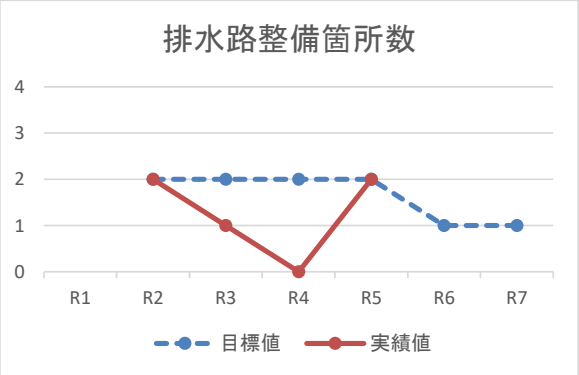
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	9,955	41,655	39,247						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	7,400	29,600	27,900						
	その他	千円		2,200	1,826						
	一般財源	千円	2,555	9,855	9,521						
人工数		人	1.1								
人件費		千円	8,428								

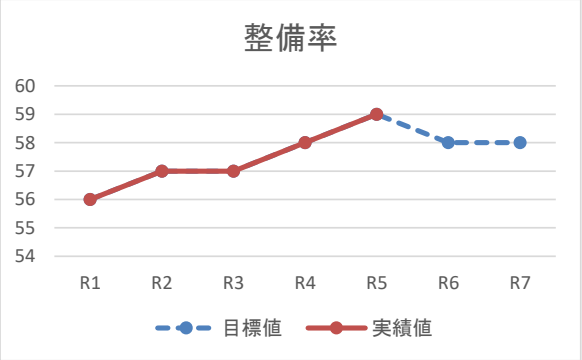
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
幹線排水路及び生活排水路の整備	排水路整備箇所数	か所	目標値	2	2	1	1
			実績値		2		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
排水不良の解消及び住環境の整備	整備率（着手箇所/要望箇所）	%	目標値	58	59	58	58
			実績値	58	59		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	5	4	1	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

整理番号
505040101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・上茂原地先の排水路整備工事を実施した。延長L=250m
・小林地先の排水整備工事を実施した。延長L=98m（残延長93m）

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**A：有効性が高い**	**A：効率性が高い**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・近年の大雨の激甚化、頻発化への対策並びに、地元からの多くの要望に対応できない状況である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・選択と集中による、より効率的な排水路整備に取り組む必要がある。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	排水路整備に係る事業の推進により、排水施設の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中でより効率的な事業推進方法の検討に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	5	4	1	下水道等	排水の適正処理
実施計画事業名					
道路排水整備事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路排水新設事業
担当課・係等				
土木建設課　道路整備係				

実施計画整理番号	
505040102	
総合戦略整理番号	

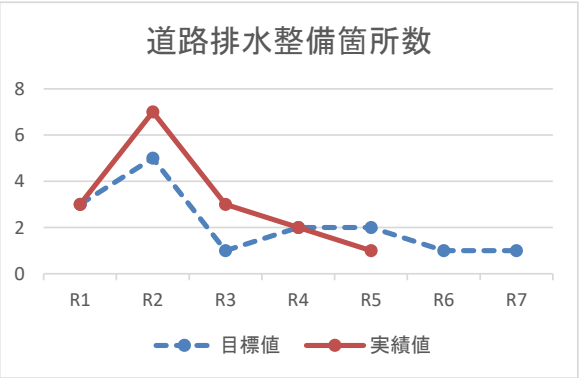
事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	道路排水不良箇所の整備を行うことにより、道路利用者の安全性を確保する。	道路排水整備工事の実施。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	道路排水施設を整備する事により、市民の生活環境を保全することと、豪雨等への対策につながり、ひいては施策「排水の適正処理」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
	事業費	千円	4,400	4,400	4,180						
財源内訳	国補助	千円									
財源内訳	県補助	千円									
財源内訳	市債	千円	3,300	3,300	3,100						
財源内訳	その他	千円									
財源内訳	一般財源	千円	1,100	1,100	1,080						
	人工数	人	1								
	人件費	千円	6,868								

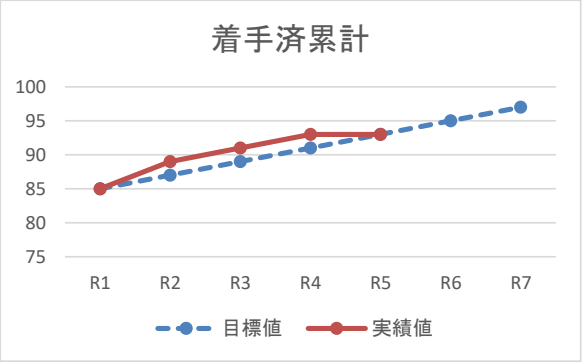
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
道路排水施設を整備する事により、市民の生活環境の保全に努め、豪雨等への対策に努める。	道路排水整備箇所数	か所	目標値	2	2	1	1
			実績値	2	1		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
道路排水整備事業を進め、道路利用者の安全性を確保する。	着手済累計	か所	目標値	91	93	95	97
			実績値	93	93		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	5	4	1	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路排水新設事業

整理番号
505040102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・法定外道路（上茂原）の道路排水新設工事を実施した。
・道路排水新設整備工事を進めることで、市民の生活環境を保全することと、豪雨等への対策につながり、排水不良地区の解消となった。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・道路排水の整備として、目標としていた箇所の整備を実施できた。
・住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	道路排水整備に係る事業の推進により、排水の適正処理に一定の成果があったと認められる。引き続き、限られた予算の中での効率的な事業推進に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	6	1	1	公園・緑地	公園の整備
実施計画事業名					
都市公園等維持補修事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	01	都市公園等維持管理費
担当課・係等				
都市整備課　公園緑地係				

実施計画整理番号	
506010101	
総合戦略整理番号	

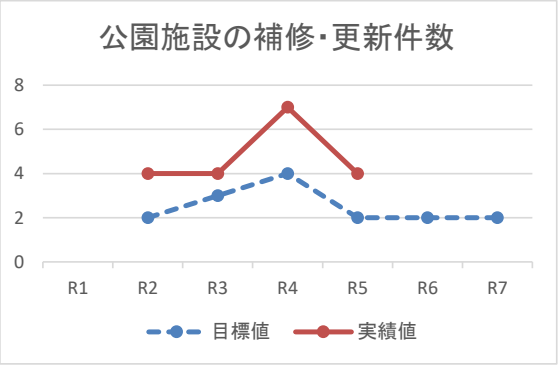
事務事業の概要（PLAN）	
事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
公園内の遊具・施設について、適切に補修・更新することで、子供たちが楽しく、安心して遊べる公園とする。	老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新を行う。
基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
各公園の施設の老朽化が顕著であるため、計画的な整備をすすめることで、施策「公園の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
区分		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	1483	2,287	2,220						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,483	2,287	2,220						
人工数		人	2.35								
人件費		千円	18,005								

手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
施設点検に努め、適切な維持管理を行う。	公園施設の補修・更新件数	件	目標値	4	2	2	2
			実績値	7	4		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
適切な維持管理を行うことで、安全に利用できる公園にする。	公園が安全に利用できるようになる		目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	6	1	1	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	01	都市公園等維持管理費

整理番号
506010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・公園LED照明灯賃貸借契約(長期継続契約)を実施した。
・公園灯支柱更新工事を実施した。（中部公園）
・茂原公園防犯カメラ設置工事を実施した。
・西ノ前公園滑り台撤去工事を実施した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・安全性を求められる公園施設の補修について、対応できた。
・利用者が安全に利用できる公園維持のため、計画的な維持管理が必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑥その他**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

計画的な維持管理の実施のため、公園点検に基づく維持管理計画の作成及び財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、整備方法を検討する。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	公園施設の補修及び更新により、公園の安全利用に一定の成果があったと認められる。引き続き適切に整備を行うとともに、効果的な整備方法の検討にも努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	6	1	1	公園・緑地	公園の整備
実施計画事業名					
茂原公園再生事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業
担当課・係等				
都市整備課　公園緑地係				

実施計画整理番号	
506010102	
総合戦略整理番号	32103

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、魅力ある誰もが利用しやすい公園として整備することで利用者の増加につなげる。	弁天湖の護岸をはじめ公園内の施設や桜の樹勢回復などの環境整備を推進する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

老朽化が進む茂原公園では、公園利用者の安全確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から、茂原公園施設等長寿命化計画に基づき施設ごとの適切な維持管理を実施することで、施策「公園の整備」に寄与する。

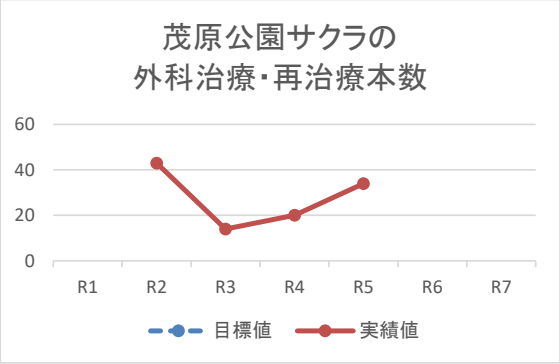
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	91600	91,600	83,632						
財源内訳	国補助	千円	45,050	45,050	41,200						
	県補助	千円									
	市債	千円	35,100	35,100	32,800						
	その他	千円									
	一般財源	千円	11,450	11,450	9,632						
人工数		人	1.2								
人件費		千円	9,194								

手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
公園整備を推進させ、外科治療・再治療を継続的に実施し、樹勢回復に努める。	茂原公園工事の件数	件	目標値	1	4	5	2
			実績値	4	1		
	茂原公園サクラの外科治療・再治療本数	本	目標値	適切に実施します	適切に実施します	適切に実施します	
			実績値	20	34		

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
茂原公園の利用者の増加につなげる	観光地としての魅力が向上する		目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	6	1	1	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

整理番号
506010102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

茂原公園園路改修工事を実施した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・弁天湖周囲園路改修工事を実施し、成果が得られていると考える。しかし、茂原公園再生計画における観光地としての魅力向上や多世代の来園者の増大につなげるためには、老朽化した公園施設の整備をさらに推進する事が必要不可欠である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑥その他**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・整備について適用できる交付金を積極的に活用し財源確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	茂原公園の改修工事等、公園整備に係る事業実施により、茂原公園の環境整備に一定の成果があったと認められる。引き続き茂原公園の整備に努めるとともに、事業実施については交付金の活用を含めた効果的な実施を検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	1	1	住宅環境	市営住宅施策の推進
実施計画事業名					
市営住宅長寿命化事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅長寿命化事業
担当課・係等				
建築課　市営住宅管理係				

実施計画整理番号	
507010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
市営住宅長寿命化計画に基づき、ストック活用する中層住宅は、計画的な改善工事を実施し、効率的な管理、運営を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに入居者の利便性の向上を目指す。	1.長谷住宅1号棟　改善工事の実施 2.長谷住宅2号棟　改善工事の実施 3.長谷住宅3号棟　改善工事の実施 4.上茂原西住宅1号棟　改善工事設計の実施 5.上茂原西住宅1号棟　改善工事の実施 6.八幡原住宅1号棟　改善工事設計の実施

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

中層住宅の計画的な改善工事は、ライフサイクルコストの縮減、及び耐久性、居住性の向上につながり、施策「市営住宅施策の推進」に寄与する。

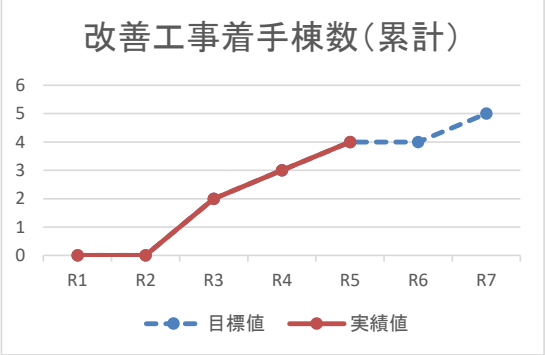
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	196186	196,186	173,500						
財源内訳	国補助	千円	67,354	67,354	60,053						
	県補助	千円									
	市債	千円	124,900	124,900	109,800						
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,932	3,932	3,647						
人工数		人	0.4								
人件費		千円	2,272								

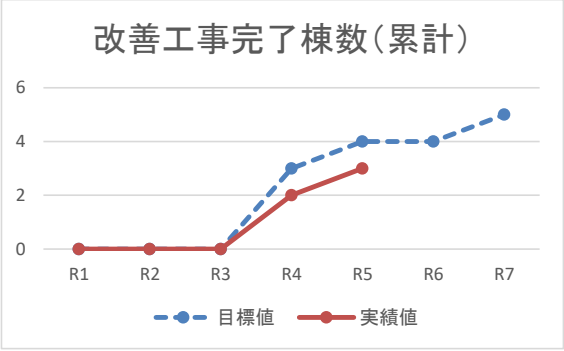
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
茂原市市営住宅長寿命化計画に基づき、中層住宅における改善工事の設計、工事、監理を計画的に実施する。また、それに伴う入居者移転等の対応を行う。	改善工事着手棟数（累計）	棟	目標値	3	4	4	5
			実績値	3	4		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
改善工事を実施することにより、市営住宅の長寿命化の推進及び入居者の利便性の向上が図られる。	改善工事完了棟数（累計）	棟	目標値	3	4	4	5
			実績値	2	3		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	7	1	1	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅長寿命化事業

整理番号
507010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・市営上茂原西住宅1号棟は、令和5年度から令和6年度の2か年に渡る工事請負契約を締結し、各部屋の間取りの変更や、給水方式の変更、三か所給湯の設置、手摺の設置、設備機器更新など大規模な内部改善工事を実施している。
・市営長谷住宅1号棟は、屋上防水や外壁塗装の外部改善工事を実施し完了 した。
・市営八幡原住宅は、設計業務委託を実施し、今後の工事実施に向け準備を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**A：有効性が高い**	**A：効率性が高い**

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・市営上茂原西住宅1号棟においては、令和6年度に工事が完了することから、家賃の設定や募集方法等を検討する必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**①業務の整理・統合・集約化**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・茂原市市営住宅長寿命化計画に基づき、事業を実施していく。
・長寿命化を行う住宅においては、計画どおりに事業が進められているかスケジュール管理を行う必要があるとともに、各年に予定される工事については、円滑な工事となるよう進捗管理に努める。
また、入居者が居住した状態で工事を行うこともあるため、日常生活に支障が出ることがないよう、きめ細やかな配慮をする必要がある。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市営住宅の改善工事に係る事業の推進により、市営住宅入居者の利便性向上に一定の効果があったと認められる。引き続き、補助金を活用しながら、計画に基づいた事業実施に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	1	1	住宅環境	市営住宅施策の推進
実施計画事業名					
市営住宅集約化事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅集約化事業
担当課・係等				
建築課　市営住宅管理係				

実施計画整理番号	
507010102	
総合戦略整理番号	

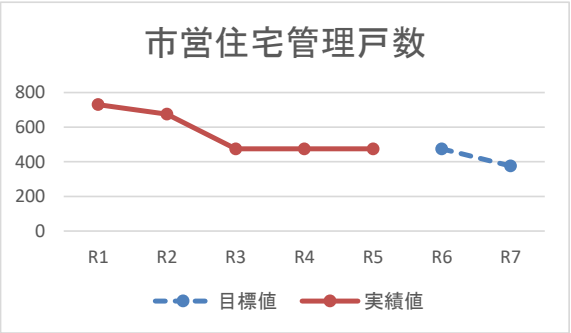
事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	市営住宅9住宅、管理戸数475戸のうち、長寿命化計画において用途廃止する住宅として位置付けられている真名住宅及び八丁寺住宅について集約化を図ることにより、維持管理費等の経費削減を図る。	・真名住宅は、入居者の移転を進めるとともに、跡地活用の検討や土地所有者説明会を行う。 ・八丁寺住宅は、入居者説明会を実施し、移転事業を進める準備を行う。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	茂原市市営住宅長寿命化計画に基づく計画的な集約化の推進及び効率的な管理・運営を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減が図られ、ひいては施策「市営住宅施策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	8000	8,000	7,979						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	8,000	8,000	7,979						
人工数		人	0.4								
人件費		千円	2,272								

手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
長寿命化計画に基づき、用途廃止に位置付けられている市営住宅の集約化を図る。			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
集約化の推進及び効率的な管理・運営によりライフサイクルコストの縮減が図られる。	市営住宅管理戸数 ※令和7年度までに管理戸数376戸を目標値とする。	戸	目標値	－	－	475	376
			実績値	475	475		

活動指標の動向	成果指標の動向
	

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	7	1	1	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅集約化事業

整理番号
507010102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・市営真名住宅平屋建て18世帯のうち、5世帯について他の市営住宅への移転を実施した。
・土地所有者に対し、市営真名住宅の現状や、今後の借地の取り扱い等における土地所有者説明会を実施した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**A：有効性が高い**	**A：効率性が高い**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・市営真名住宅の集約化のため、残り12世帯の移転を予算の範囲内において確実に実施する。
・今後の跡地利活用に向けて、様々な条件整備が必要となるため、他課と連携を図り事業を進めていく。
・入居者移転にあたり、移転対象者の選定や転居先の修繕等の調整を早期に実施することが必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・市営真名住宅の集約化に伴い、所管課にて明確な跡地利用計画と売却方針等を示すとともに、担当課による、残り12世帯の移転事業を実施していくことが必要である。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市営住宅集約化に向けた事業の実施が行われたものと認められる。引き続き、関係各課と連携を図り、集約化に向けた事業実施に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	2	1	住宅環境	住宅環境の整備促進
実施計画事業名					
木造住宅耐震化事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業
担当課・係等				
建築課　審査指導係				

実施計画整理番号	
507020101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

耐震診断及び改修等に係る費用の一部を補助することで、耐震性の低い住宅の改善を促進し、施策「住宅環境の整備促進」に寄与する。

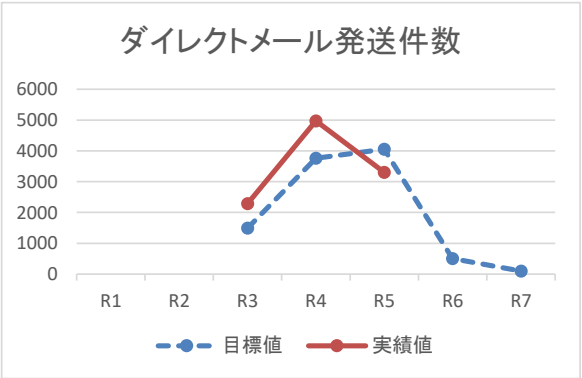
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	6,174	6,174	2,807						
財源内訳	国補助	千円	2,886	2,886	1,322						
	県補助	千円	1,042	1,042	503						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,246	2,246	982						
人工数		人	1.1								
人件費		千円	8,031								

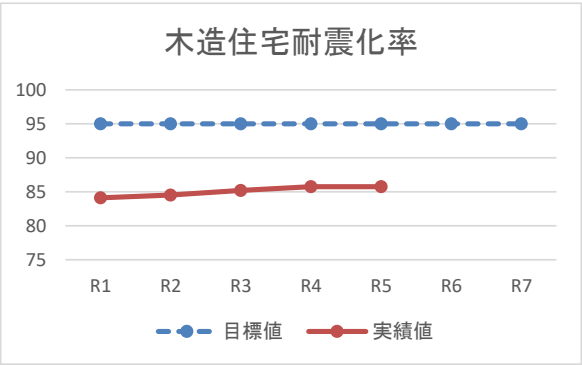
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
建築士事務所協会に耐震診断士の派遣を委託し耐震相談を行い、診断等に要する費用の一部を補助することで耐震化の促進を図っている。併せて住宅所有者へのダイレクトメールにより周知・促進に努める。	耐震相談会開催回数	回	目標値	7	7	5	5
			実績値	6	5		
	ダイレクトメール発送件数	件	目標値	3,764	4,053	500	100
			実績値	4,973	3,208		

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	木造住宅耐震化率	%	目標値	95	95	95	95
			実績値	86	86		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	7	2	1	木造住宅耐震化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

整理番号
507020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・旧耐震住宅（S56以前）の所有者へ、直接耐震相談会の申込書を送付し、耐震相談会の周知を行い、計6回、延べ51組の相談を受け付けた。
・市内ホームセンターにて、空き家合同相談会を実施し、耐震相談会及び耐震補強について広く市民に周知活動を行った。
・国及び県の補助金を活用し、耐震診断5名、耐震改修1名、解体1名、ブロック塀改修6名に対し補助金を交付した。
・旧耐震住宅の所有者へダイレクトメールを送付し、市の耐震に対する取組内容の周知啓発と併せて、所有住宅に対する今後の意向調査を実施し、促進を図るべき対象数の実態把握を行った。
・小学校通学路周辺のブロック塀所有者に対し、直接の訪問による危険性の周知を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	B：効率性が認められる

総合評価

C：成果を挙げることができなかった（目標・目的を達成していない）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・耐震改修補助金の活用が進まず、耐震化率が伸びない。意向調査の内容からも、所有者の高齢化と高額な補強費用の負担が原因で活用が進まないようである。
・危険ブロック塀の周知に時間がかかるが、直接説明することが効果が高い。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・大規模地震の被害調査結果などを活用し、耐震補強工事の重要性を周知することにより、耐震化率の向上を進める。
・危険ブロック塀の周知活動を継続して進める。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	木造住宅耐震化のための各種施策を行っているが、耐震化率の向上に課題が見受けられる。意向調査の結果等を踏まえ、効果的な周知等施策を検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	7	3	1	住宅環境	空き家対策の推進
実施計画事業名					
空き家等対策事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	空家等対策事業
担当課・係等				
建築課　住宅政策係				

実施計画整理番号	
507030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等に関する必要な措置を適切に講ずるよう努めることにより、市民の生活の向上と安心して生活できる住環境の実現を図る。	・空家等対策協議会の開催。 ・緊急安全措置の実施。 ・空き家バンク登録物件リフォーム補助の交付。 ・特定空家等への法的措置。 ※緊急安全措置・・・防災上において緊急を要するものに対し安全性の担保や二次被害を起こさないための措置。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

人口減少や核家族化等による空き家の増加に伴い、効率的かつ総合的な空き家対策を講じる必要がある。管理不適正な空家が抱える問題は、多種多様であるため、様々な施策の充実を図ることで、施策「空き家対策の推進」に寄与する。

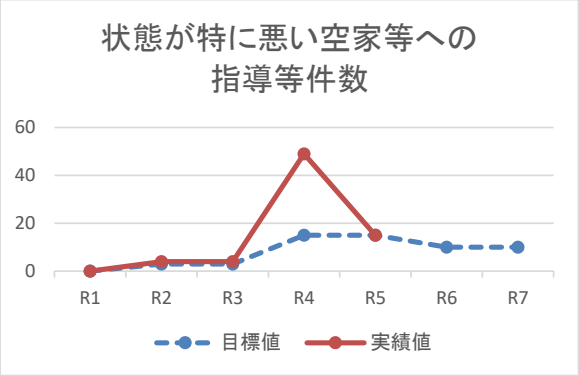
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	6232	6,232	6,117						
財源内訳	国補助	千円	3,012	3,012	3,013						
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,220	3,220	3,104						
人工数		人	1.5								
人件費		千円	11,493								

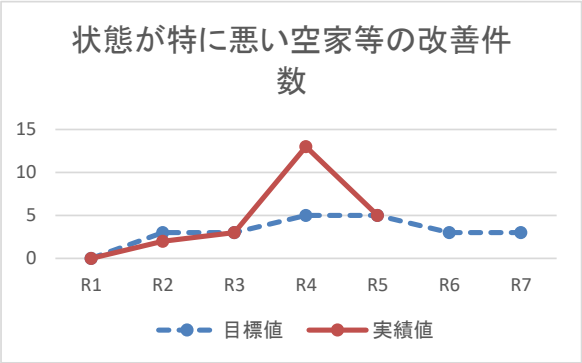
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
管理不適正で状態が特に悪い空家等の所有者に対し、法令等に基づく指導等を強化する。	状態が特に悪い空家等への指導等件数	戸	目標値	15	15	10	10
			実績値	49	15		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
市民の生活の向上と安心を与え、もらえる住環境の実現。	状態が特に悪い空家等の改善件数	戸	目標値	5	5	3	3
			実績値	13	5		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	7	3	1	空き家等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	空家等対策事業

整理番号
507030101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・空き家所有者のサポートとして、空き家相談会を開催し相談者26組が来場した。
・著しく管理不適正な空き家に対し、指導等により5件の空き家が解消した。
・空き家バンクについて、物件の新規登録11件（うち8件成約）、利用者登録30件となり、空き家の利活用がはかられた。
・所有者不存在の空き家について、5件の申立てを行った。
・空き家の適正管理の促進として、茂原市シルバー人材センターと空き家管理に関する協定を締結した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	B：効率性が認められる

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・指導により改善される空き家もあるが、度重なる指導等においても改善が図られない空き家もある。
・市内の空き家は年々増加しているので、管理不全となる前に所有者への周知（予防・活用）やサポート体制を検討する必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・茂原市空家等対策計画に基づき事業を実施していく。
・管理不全の空き家がもたらす問題や適正管理の重要性を周知し、空き家の適正管理を進める。
・空き家に対する指導を継続的に進められるよう、スケジュール表を用いて進捗管理を行う。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	状態が特に悪い空き家等への指導件数、改善件数ともに目標値を達成しており、空き家対策の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き指導等事業実施に努めるとともに、より効率的な事業実施の方法についても検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	1	1	環境保全	ごみ処理の推進
実施計画事業名					
ごみ排出適正化事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業
担当課・係等				
環境保全課　クリーン推進係				

実施計画整理番号	
508010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
不法投棄の未然防止と、不法投棄されたごみの早期適正処理を目標とする。	・職員及び不法投棄監視員による随時パトロール ・ごみ集積所表示看板、不法投棄禁止看板の配付 ・千葉県環境衛生促進協議会への参加

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

職員及び不法投棄監視員による市内パトロールの実施、自治会等に「ごみ集積所表示看板」「不法投棄禁止看板」等の配付を行い不法投棄の未然防止を図り、施策「ごみ処理の推進」に寄与する。

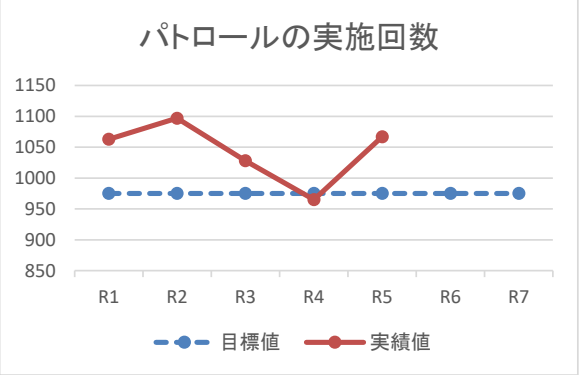
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	2,516	2,516	2,139						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	444	444	416						
	市債	千円									
	その他	千円	11	11	11						
	一般財源	千円	2,061	2,061	1,712						
人工数		人	3.5								
人件費		千円	20,805								

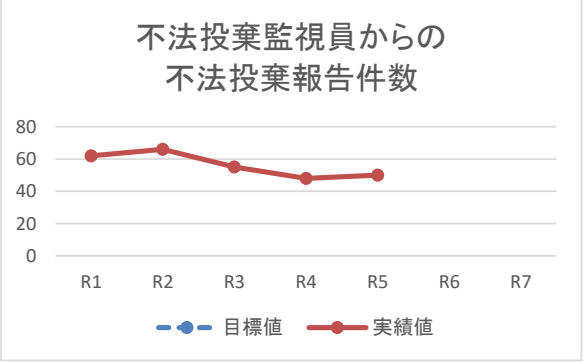
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
不法投棄監視員によるパトロール及びごみ集積所表示看板、不法投棄禁止看板の配付を実施する。	パトロールの実施回数	回	目標値	維持します	維持します		
			実績値	965	1,067		
	不法投棄禁止看板の配付数	枚	目標値	減少を目指します	減少を目指します		
			実績値	46	32		

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
不法投棄の未然防止と、不法投棄されたごみの早期適正処理を図る。	不法投棄監視員からの不法投棄報告件数	件	目標値	減少を目指します	減少を目指します		
			実績値	48	52		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	1	1	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

整理番号
508010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・不法投棄監視員によるパトロールの実施回数　1，067回
（内、不法投棄監視員からの不法投棄報告件数　52件）
・不法投棄禁止看板の配付数　32枚

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・家庭系ごみの不法投棄は依然として散見されるものの減少傾向にあること、また大規模な不法投棄は発生していないことから一定の成果を挙げているものと考えている。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・引き続き不法投棄監視員によるパトロールの実施及び排出方法の徹底により不法投棄の未然防止を図っていく。
・「ごみ集積所表示看板」「不法投棄禁止看板」等を配付する。
・ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し排出方法の徹底に努める。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	パトロールや看板の配付といった施策により、不法投棄の未然防止に一定の成果があったと認められる。引き続き各施策を遅滞なく行っていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	1	2	環境保全	ごみ処理の推進
実施計画事業名					
3R推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業
担当課・係等				
環境保全課　クリーン推進係				

実施計画整理番号	
508010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。 ※3R…無駄なごみの発生を抑制する「リデュース（Reduce）」、使えるものは繰り返し使う「リユース（Reuse）」、ごみを資源として再利用する「リサイクル（Recycle）」の3つのRの総称で、リデュース、リユース、リサイクルの優先順位でごみの削減に努めるのが良いという考え方。	・リサイクル推進委員会への活動支援 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・ごみ集積所の新設、修理、及びネット購入費補助

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

循環型社会の形成を目標とし、3Rの推進及び生ごみの堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機の購入費補助を行うことにより、施策「ごみ処理の推進」に寄与する

投入される行政コスト（DO）

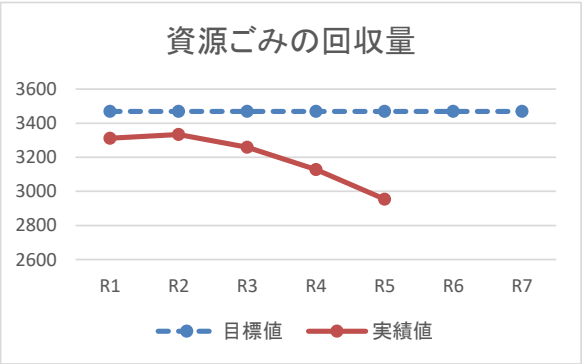
区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	4,559	5,036	4,104						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,559	5,036	4,104						
人工数		人	2.3								
人件費		千円	14,845								

手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
リサイクル推進委員会への活動支援、生ごみの堆肥化容器の助成販売、生ごみ処理機の購入及びごみ集積所の整備に対する補助を行う。			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
3Rの推進による循環型社会の形成	資源ごみの回収量	t	目標値	3,469	3,469	3,469	3,469
			実績値	3,149	2,954		

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	1	2	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

整理番号
508010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・リサイクル推進委員会への助成　1，116千円
・ごみ集積所の新設、修理、及びネット購入費補助　37団体　1，419千円
・生ごみ処理機等購入費補助　50基　443千円

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・スーパー等による民間のリサイクル回収ルートが普及したことなどにより、収集量が減少傾向にある。
・広報紙や市公式ウェブサイト等でごみ集積所整備補助金及び生ごみ処理機等購入費補助金の周知を図っているが、更なる普及啓発が必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・リサイクル推進委員会の補助、ごみ集積所整備や生ごみ処理機等の購入に対する補助により、ごみ排出の抑制、ごみの減量化に一定の成果を挙げていることから、引き続き事業の推進を図る。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	3R推進のための各種補助により、循環型社会の形成に一定の成果があったものと認められる。引き続き事業の推進を図るとともに、より効果的な周知・啓発方法について検討していただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	1	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
緑化推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業
担当課・係等				
環境保全課　クリーン推進係				

実施計画整理番号	
508020101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設への緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し普及を図ることを目標とする。	・公共施設への緑や花の植栽 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布 ・花いっぱいコンクールの開催 ・花いっぱい運動推進協議会への助成

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

自治会市民団体等へ市の花コスモスの種子の配布や、市内公共施設へ草花の植栽をすることで花いっぱい運動の普及を図ることで、施策「生活環境の整備」に寄与する。

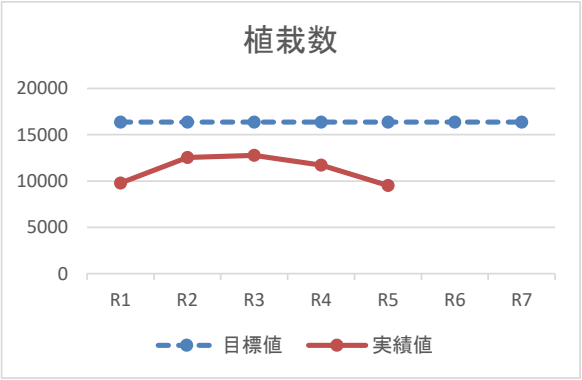
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	2,131	2,131	2,025						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,131	2,131	2,025						
人工数		人	1.8								
人件費		千円	11,410								

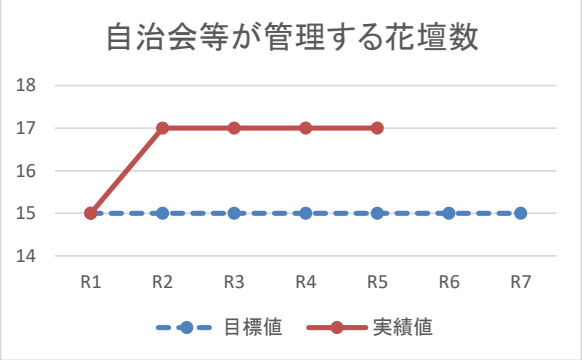
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
緑のある美しいまちづくりを進めるため公共施設への草花の植栽を行うとともに、自治会等にコスモスの種子を配布し、「花いっぱい運動」を展開する。	植栽数	苗	目標値	維持します	維持します		
			実績値	11,733	9,520		
	配布数	ℓ	目標値	維持します	維持します		
			実績値	160	160		

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
環境美化への市民意識の醸成を図る	自治会等が管理する花壇数	箇所	目標値	維持します	維持します		
			実績値	17	17		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	2	1	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

整理番号
508020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・公共施設への草花の植栽　9，520苗
・自治会等への市の花コスモスの種子配布　160ℓ
・花いっぱいコンクールの開催　22件（個人7名　団体7団体　小学校5校　幼稚園・保育所3団体）
・花いっぱい運動推進協議会への助成　90千円

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・花いっぱい運動推進協議会主催の「花いっぱいコンクール」については、令和5年台風第13号により秋のコンクールを中止した。
・「花いっぱいコンクール」の参加者が減少傾向にある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑥その他**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・「花いっぱいコンクール」については今後実施せず、広報やウェブページで自治会に配付したコスモスの開花状況や市民の皆様から自宅で管理している花壇等の情報収集や発信を行う。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	「花いっぱい運動」については中止にするか、コスモスの開花状況や自宅の花壇の情報を発信することで、緑ある美しいまちづくりの推進に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	2	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
美化推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業
担当課・係等				
環境保全課　クリーン推進係				

実施計画整理番号	
508020201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して市民の協力のもと美化活動を推進する。	・地域の環境美化活動の推進 ・空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 ・自治会への草刈機の貸し出し ・ポイ捨て防止条例に基づく啓発 ・広報紙、パンフレット等による啓発活動 ・ゴミゼロ運動の実施

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

自治会や市民団体等による自主的な清掃活動を奨励し、ゴミゼロ運動などのイベントや広報紙などによる啓発の実施、空き地の雑草対策を図ることにより、施策「生活環境の整備」に寄与する。

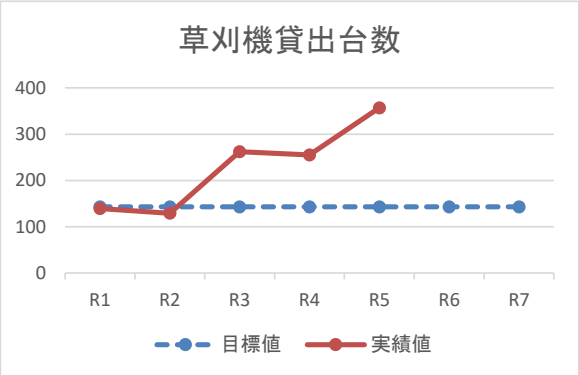
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	371	371	340						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	371	371	340						
人工数		人	2.1								
人件費		千円	13,709								

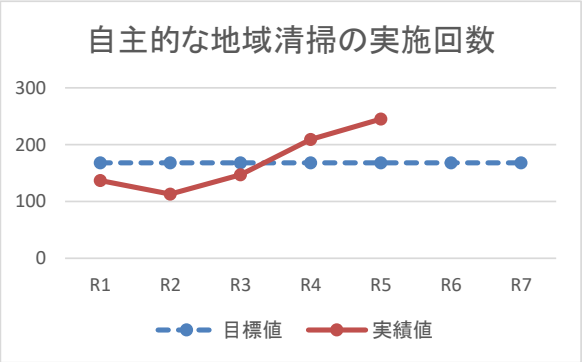
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
自治会等に対し、草刈機の貸し出しを行う。	草刈機貸出台数	台	目標値	143	143	143	143
			実績値	255	357		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
自治会や市民団体等による、自主的な美化活動を実施することできれいで住みよい環境づくりを進める。	自主的な地域清掃の実施回数	回	目標値	169	169	169	169
			実績値	201	245		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	2	2	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

整理番号
508020201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・草刈機貸出台数　71台
・地域清掃等の実施数　263回
・雑草等の除去に関する指導　365件（内248件対処済み：実施率67．9%）

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**A：有効性が高い**	**A：効率性が高い**

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・市内統一キャンペーンとしてのゴミゼロ運動を中止したため、自治会等で通年行われている環境美化活動が増加した。
・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行っているが、未実施のところがある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	**③連携・協働の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・自治会等で通年行われている環境美化活動を推進していく。
・引き続き、空き地の土地所有者が適正に管理するように、雑草等の除去に関する指導を行う。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	自主的な地域清掃の実施数は増加してきており、各種施策が美化活動の推進に一定の成果を挙げているものと認められる。引き続き活動ん推進を図るとともに、適正な指導に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	2	3	環境保全	生活環境の整備
実施計画事業名					
害虫防除対策事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業
担当課・係等				
環境保全課　クリーン推進係				

実施計画整理番号	
508020301	
総合戦略整理番号	

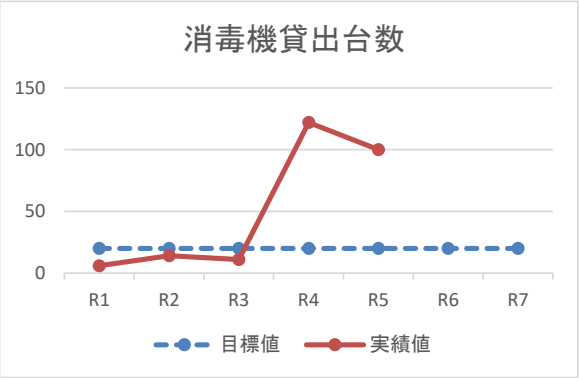
事務事業の概要（PLAN）	
事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
自転車歩行者道路（豊田川）沿いの桜の木の害虫駆除、自治会への消毒機の貸し出しや衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	・自転車歩行者道路（豊田川）沿いの桜の木の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸し出し ・公共施設の蜂の巣駆除
基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
自転車歩行者道路（豊田川）沿いの桜の木の害虫駆除、自治会への消毒機の貸し出しや衛生指導を行い、害虫の発生を抑制することにより、施策「生活環境の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
区分		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	399	377	357						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	399	377	357						
人工数		人	1.1								
人件費		千円	6,841								

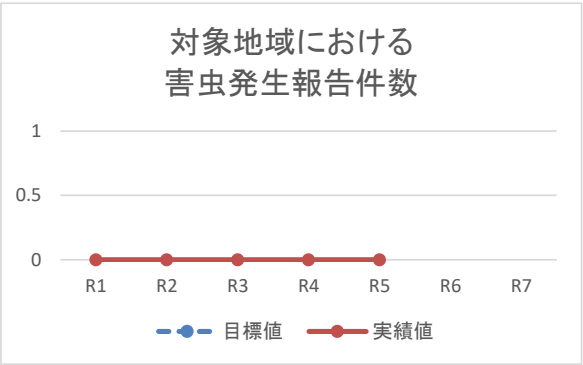
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
自転車歩行者道路（豊田川）沿いの桜の木の消毒作業及び自治会への消毒機の貸し出しを行う	消毒回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2		
	消毒機貸出台数	台	目標値	33	33	33	33
			実績値	122	100		

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
生活環境の整備を図るとともに市民等による適正な環境づくりを促進する。	対象地域における害虫発生報告件数	件	目標値	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます
			実績値	0	0		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	2	3	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

整理番号
508020301

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・自転車歩行者道路（豊田川）沿いの桜の木の消毒回数　2回
・自治会への消毒機の貸し出し数　延べ137台、39団体
・害虫発生報告件数　0件

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・自転車歩行者道路（豊田川）沿いの桜の木は、害虫の発生を抑制し、十分な成果を挙げることができた。
・自治会に消毒機の貸し出しを行うことで、害虫の発生を抑制し、十分な成果を挙げることができた。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	③連携・協働の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・引き続き自転車歩行者道路（豊田川）沿いの桜の木の害虫の駆除を実施し、生活環境の保全を図る。
・引き続き自治会等に消毒機の貸し出しを行うことにより、生活環境の保全に努める。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	害虫駆除に係る各施策を行うことにより、害虫発生件数の抑制に一定の成果があったと認められる。引き続き生活環境の保全のため、遅滞なく事業の実施に努めていただきたい。

令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
5	8	3	1	環境保全	地球温暖化対策の推進
実施計画事業名					
新エネルギー利活用促進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用設備等脱炭素化促進事業
担当課・係等				
環境保全課　環境対策係				

実施計画整理番号	
508030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
家庭におけるエネルギーの安定的な供給、エネルギー利用の効率化・最適化を図り、地球温暖化防止に資する。	・市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を導入する市民に対し、千葉県の補助基準の範囲内で補助金を交付する。 ・補助制度の利用促進のための周知を行う。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

家庭においても省エネの取り組みなど地球温暖化対策を推進する必要がある。補助金の交付により、住宅用省エネルギー設備等の導入を促進し、家庭からの二酸化炭素排出量の抑制を図り、施策「地球温暖化対策の推進」に寄与する。

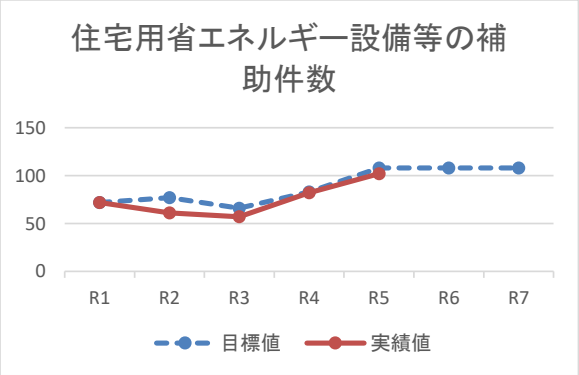
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 計画	令和6年度 予算	令和6年度 決算	令和7年度 計画	令和7年度 予算	令和7年度 決算
事業費		千円	12,900	12,900	9,755						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	10,950	10,950	7,812						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,950	1,950	1,943						
人工数		人	1								
人件費		千円	7,663								

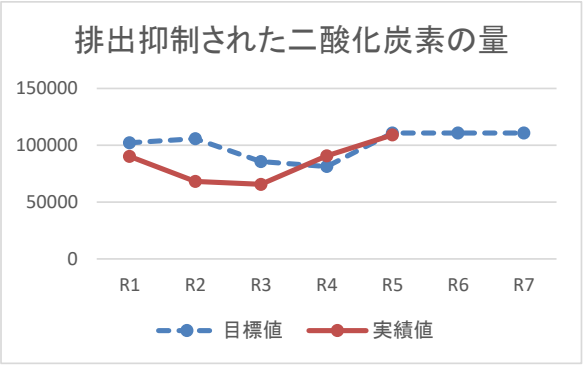
手　段（DO）	活動指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
住宅用省エネルギー設備等を導入する市民に補助金を交付するとともに、利用促進のための周知を行う。	住宅用省エネルギー設備等の補助件数	件	目標値	83	108	108	108
			実績値	82	102		
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		4年度	5年度	6年度	7年度
家庭から排出される二酸化炭素の量の抑制を図ることで、地球温暖化防止に資する。	排出抑制された二酸化炭素の量	kg	目標値	81,286	110,792	110,792	110,792
			実績値	90,614	109,060		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
5	8	3	1	新エネルギー利活用促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用設備等脱炭素化促進事業

整理番号
508030101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・脱炭素に資する住宅用設備等の導入について、102件を支援した。
（太陽光発電システム5件、家庭用燃料電池システム（エネファーム）30件、リチウムイオン蓄電システム58件、窓の断熱改修1件、電気自動車3件、プラグインハイブリッド自動車3件、V2H充放電設備2件）
・広報やウェブサイト等を通して、補助制度や家庭でできる地球温暖化対策の取り組みについての周知を図った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・脱炭素に資する住宅用設備等の導入ニーズの増加が見込まれるため、補助を継続していく必要がある。
・補助制度の利用促進を図るため、引き続き周知を図る必要がある。
・脱炭素に資する住宅用設備等の導入補助により、市内における二酸化炭素の排出量削減や電力の強靭化に一定の成果を挙げている。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・引き続き、住宅用設備等の導入ニーズを把握し、適切に補助を実施するとともに、広報・市公式ウェブサイト・SNS等を活用して制度の周知を図っていく。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	住宅用省エネルギー設備導入への補助により、地球温暖化対策の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な補助を行うとともに、効果的な周知方法を検討していただきたい。